

1-3 須山口登山道 現御殿場口登山道 《御殿場市》

須山浅間神社を起点とし、山頂南東部に至る登山道です。その起源は明確ではありませんが、古文書では1486年にその存在が確認できます。登山道のいくつかの宗教施設は村山浅間神社(興法寺)の修験者の行場としても使用されました。資産の範囲は、現御殿場口登山道となる標高2,050m以上と信仰の対象であった御胎内周辺です。

